

日立デジタル電子交換機

CXシリーズ

CX256MS

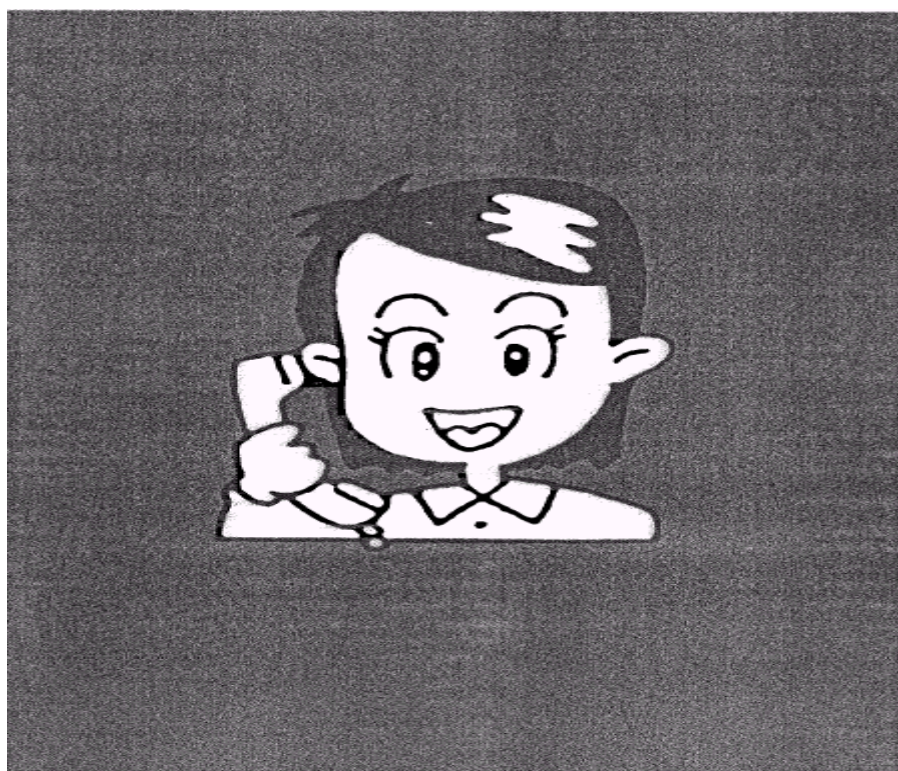
CX3000MS

CX3400MS

可変短縮ダイヤル登録説明書ダウンロード版

可変短縮ダイヤルを、各電話機から登録する内容について説明します。

- ・この説明書は、「取扱説明書」の内容から、個人短縮ダイヤル登録、個人短縮ダイヤル名称登録について抜粋したダウンロード版の説明書です。
- ・内容をよくお読みになり、内容を理解してからお使いください。
- ・お読みになったあとも、大切に保管しいつでも見られる場所に置いてお使いください。



可変短縮ダイヤルに登録するとき

短縮ダイヤルには、全内線が共通に使用できるシステム短縮ダイヤルと、内線が個別に使用できる可変短縮ダイヤルがあります。

- 可変短縮ダイヤルは、短縮グループ内で共通に使用できる“グループ用”と内線が独自に使用できる“個人用”があります。取付け時の設定により、双方またはどちらか一方に設定されています。
- 発信操作は取付け時、8つのパターンのうちいずれかに設定されています。販売店に確認してください。(尚、システム短縮、可変短縮とも同パターンです。)
- 設定されている可変短縮のパターン内容にそって、相手先を登録してください。

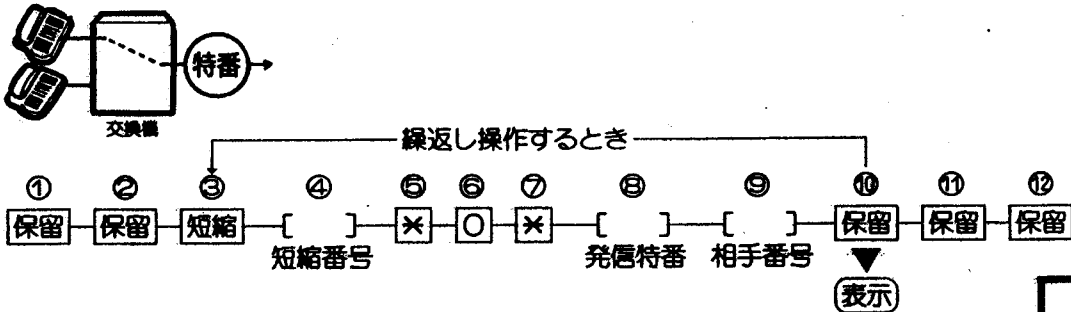
【短縮ダイヤル一覧】

パターン		①システム短縮ダイヤル			②可変短縮ダイヤル	
		登録:0エリア	登録:1エリア	1000メモリ	グループ用	個人用
0	登録数 (短縮番号)	80 (00~79)	100 (00~99)	1000 (000~999)	100 (※00~※99)	20 (80~99)
	発信操作	短縮→XX	特番→XX	特番→XXX	短縮→※XX	短縮→XX
1	登録数 (短縮番号)	100 (※00~※99)	100 (00~99)	1000 (000~999)	100 (00~99)	20 (80~99)
	発信操作	短縮→※XX	特番→XX	特番→XXX	特番→XX	短縮→XX
2	登録数 (短縮番号)	80 (00~79)	100 (※00~※99)	1000 (000~999)	100 (00~99)	20 (80~99)
	発信操作	短縮→XX	短縮→※XX	特番→XXX	特番→XX	短縮→XX
3	登録数 (短縮番号)	80 (00~79)	100 (00~99)	1000 (※000~※999)	100 (00~99)	20 (80~99)
	発信操作	短縮→XX	特番→XX	短縮→※XXX	特番→XX	短縮→XX
4	登録数 (短縮番号)	100 (00~99)	100 (00~99)	1000 (000~999)	100 (00~99)	20 (※80~※99)
	発信操作	特番→XX	特番→XX	特番→XXX	短縮→XX	短縮→※XX
5	登録数 (短縮番号)	100 (00~99)	100 (00~99)	1000 (000~999)	100 (00~99)	20 (※80~※99)
	発信操作	短縮→XX	特番→XX	特番→XXX	特番→XX	短縮→※XX
6	登録数 (短縮番号)	100 (00~99)	100 (00~99)	1000 (000~999)	100 (00~99)	20 (※80~※99)
	発信操作	特番→XX	短縮→XX	特番→XXX	特番→XX	短縮→※XX
7	登録数 (短縮番号)	100 (00~99)	100 (00~99)	1000 (000~999)	100 (00~99)	20 (※80~※99)
	発信操作	特番→XX	特番→XX	短縮→XXX	特番→XX	短縮→※XX

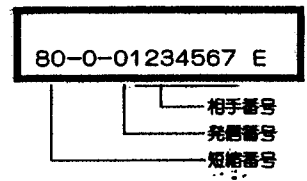
グループ可変短縮ダイヤルの登録

登録操作

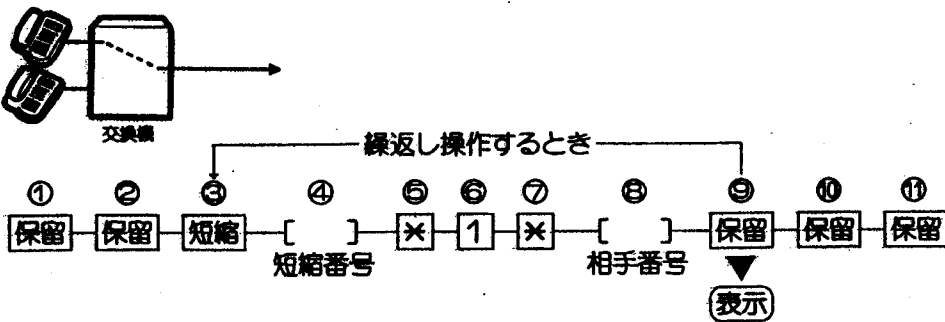
■ かけるときに特番が必要な場合 (【例】外線発信特番・LCR発信特番・専用線発信特番など)



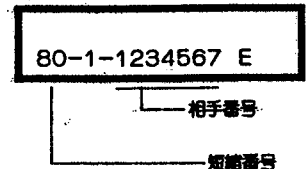
- グループ短縮ダイヤルが利用できるのは、短縮ダイヤル一覧(※P.43)のうち、パターン0か4に設定されている場合だけです。
- 操作④は、短縮ダイヤル一覧(※P. 2)に於ける該当/パターンの短縮番号そのものを入力します。
- ポーズが必要な場合は **フッキング** ボタンを押します。ポーズも桁数に含まれます。
- 新しい番号を入力すると前の番号は自動的にクリアされます。



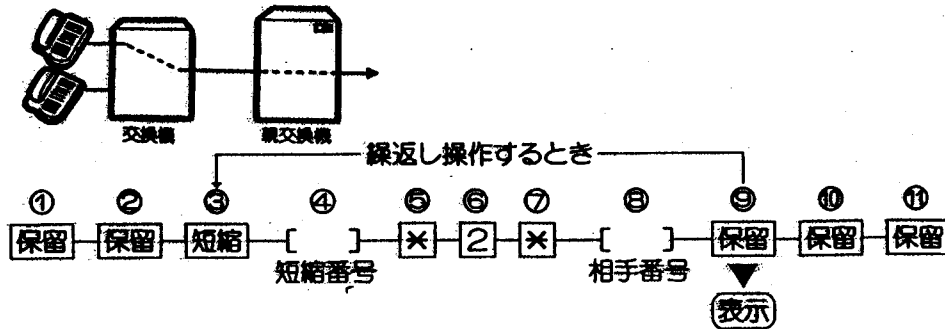
■ 外線に直接かけられる場合



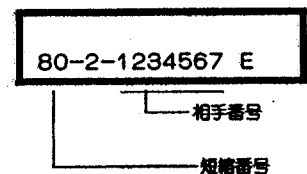
- 操作④は、短縮ダイヤル一覧(※P. 2)に於ける該当/パターンの短縮番号そのものを入力します。



■ 親交換機を通してかける場合



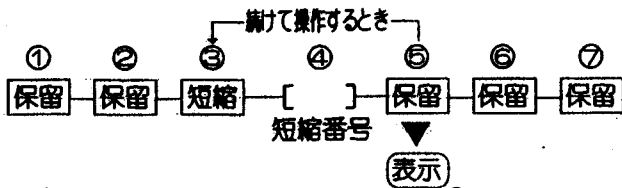
- 操作④は、短縮ダイヤル一覧(※P. 2)に於ける該当/パターンの短縮番号そのものを入力します。



電話機からの登録操作

★操作はすべて受話器を置いたままで行います

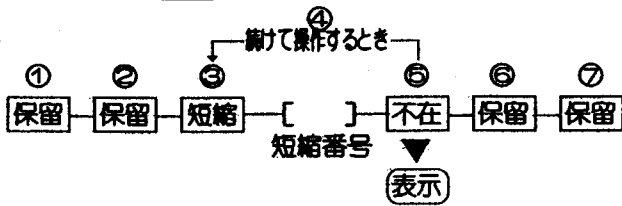
確認操作



80-0-01234567 E

- 操作④は、短縮ダイヤル一覧(☞P. 2)に於ける該当/パターンの短縮番号そのものを入力します。

取消操作



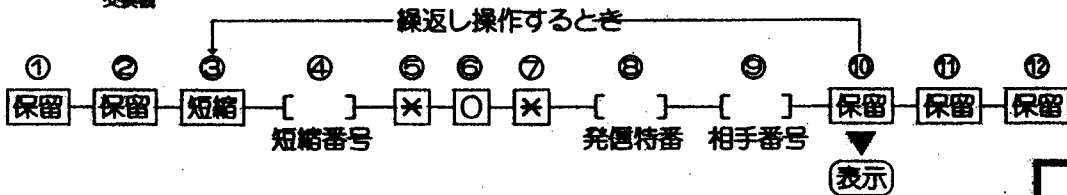
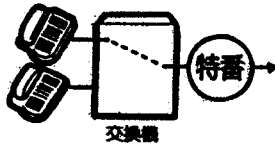
80-1-01234567C E

- 操作④は、短縮ダイヤル一覧(☞P. 2)に於ける該当/パターンの短縮番号そのものを入力します。

2 個人可変短縮ダイヤルの登録

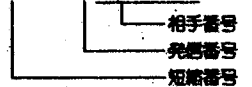
登録操作

■ かけるときに特番が必要な場合 (〔例〕外線発信特番・LCR発信特番・専用線発信特番など)

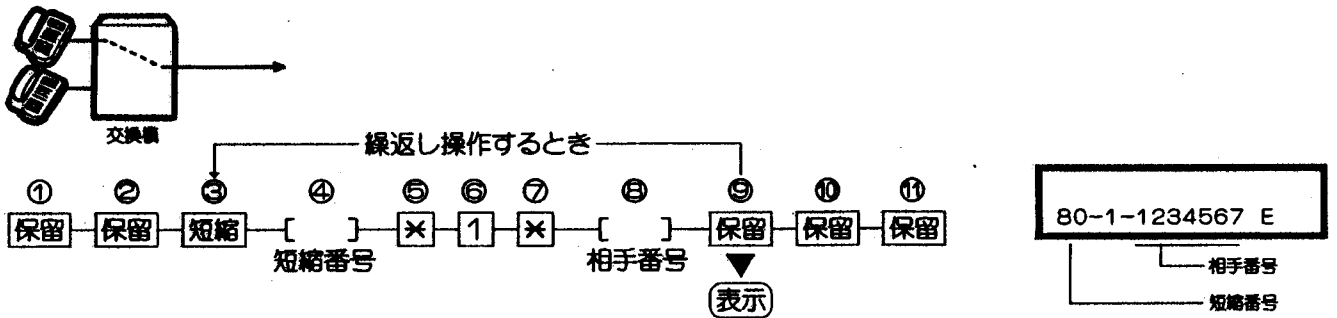


80-0-01234567 E

- 操作④は、短縮ダイヤル一覧(☞P. 2)に於ける該当/パターンの短縮番号そのものを入力します。
- ポーズが必要な場合は「フッキング」ボタンを押します。ポーズも桁数に含まれます。
- 新しい番号を入力すると前の番号は自動的にクリアされます。

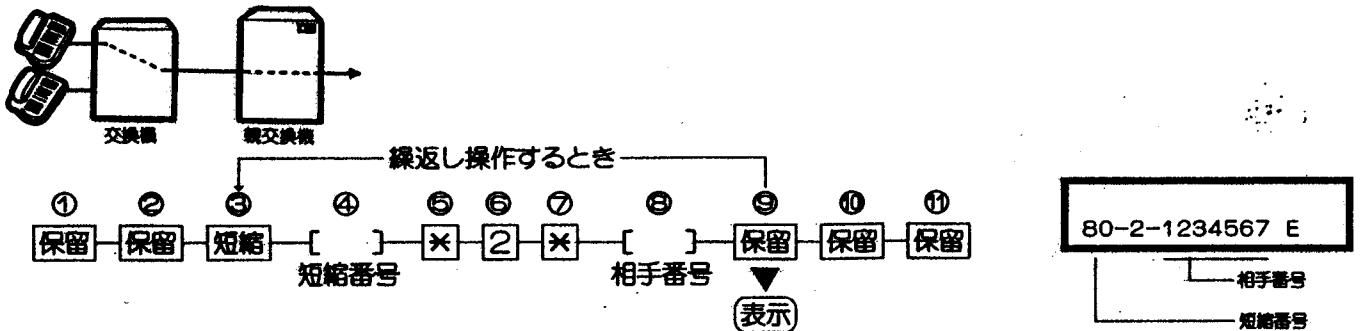


■ 外線に直接かけられる場合



- 操作④は、短縮ダイヤル一覧(※P. 2)に於ける該当/パターンの短縮番号そのものを入力します。

■ 親交換機を通してかける場合



- 操作④は、短縮ダイヤル一覧(※P. 2)に於ける該当/パターンの短縮番号そのものを入力します。

確認操作



- 操作④は、短縮ダイヤル一覧(※P. 2)に於ける該当/パターンの短縮番号そのものを入力します。
- 操作⑤で内容が表示されたときに「E」マークの代わりに「-」マークが表示された場合は、内容が一度に表示できない場合です。この場合は **転送** ボタンを押すと残りの内容が表示されます。

取消操作



- 操作④は、短縮ダイヤル一覧(※P. 2)に於ける該当/パターンの短縮番号そのものを入力します。

日立デジタル電子交換機

CXシリーズ

CX256MS

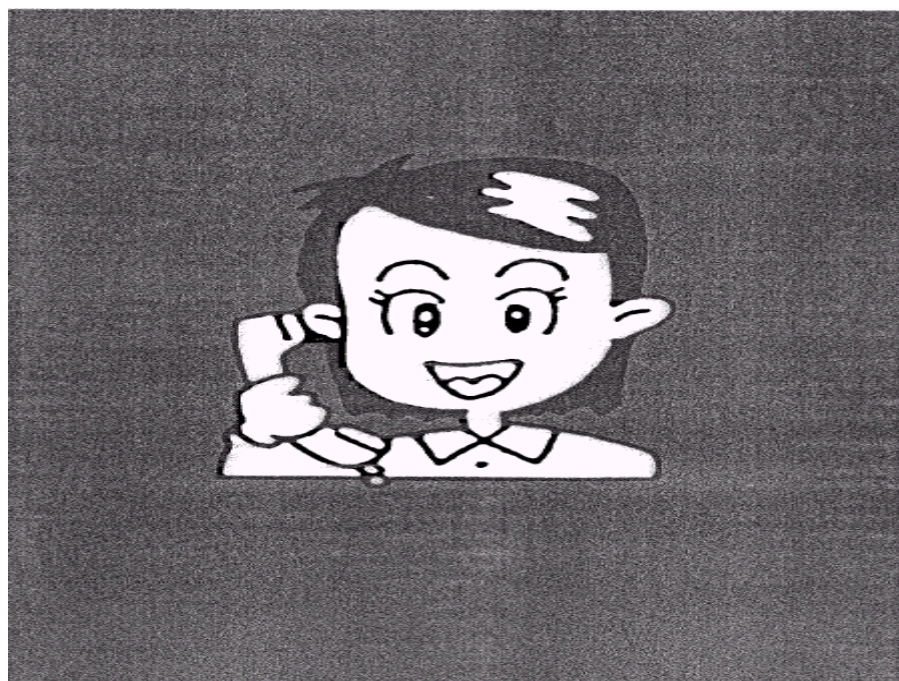
CX3000MS

CX3400MS

特定電話機説明書ダウンロード版

特定電話機とは次の項目について登録できる電話機です。

- ・日付・時刻登録
 - ・システム短縮ダイヤル登録
 - ・システム短縮ダイヤル相手名称の登録
- ・この説明書は、「取扱説明書」の内容から、特定電話機からの登録について抜粋した
ダウンロード版の説明書です。
- ・内容をよくお読みになり、内容を理解してからお使いください。
- ・お読みになったあとも、大切に保管しいつでも見られる場所に置いて
お使いください。



特定電話機からの 登録操作

★操作はすべて受話器を置いたままで行います

特定電話機とは

通常の電話機能以外に次の項目について操作できる電話機のことです。

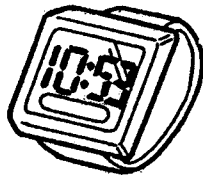
1 日付の設定

年、月、日、曜日を設定
できます。



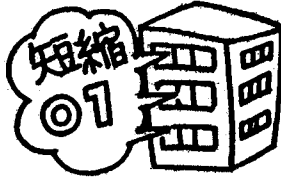
2 時刻の設定

時、分、秒を設定できます。

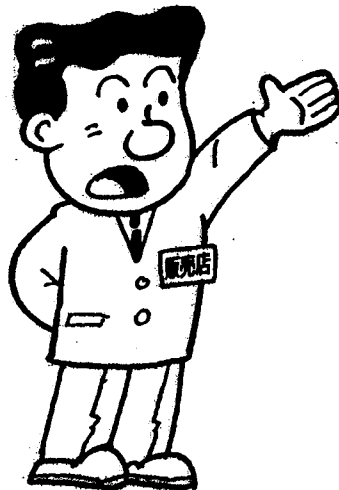


3 システム短縮 ダイヤルの登録

全内線が共通に使える短縮ダイヤルに、
相手先を登録できます。



特定電話機は取り付け時に
設定されていますので、販売
店に確認してください。
なお、台数はシステムに
1台です。



日付を設定するとき

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

保留 保留 代理応答 04 * [] * [] * [] * [] 保留 保留 保留

年 (2桁) 月 (2桁) 日 (2桁) 曜日 (1桁)

▼ 表示

●操作⑬は、次の数字を入力します。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7

データクロック/ヒヨウシ
96-04-01-2 E

┌─── 日
└─── 月
└─── 年

時刻を設定するとき

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬

保留 保留 代理応答 05 * [] * [] * [] 保留 保留 保留

時 (2桁) 分 (2桁) 秒 (2桁)

▼ 表示

データクロック/ヒヨウシ
13-15-00-2 E

┌─── 秒
└─── 分
└─── 時

特定電話機からの 登録操作

★操作はすべて受話器を置いたままで行います

システム短縮ダイヤルに登録するとき

短縮ダイヤルには、全内線が共通に使用できるシステム短縮ダイヤルと、内線が個別に使用できる可変短縮ダイヤルがあります。

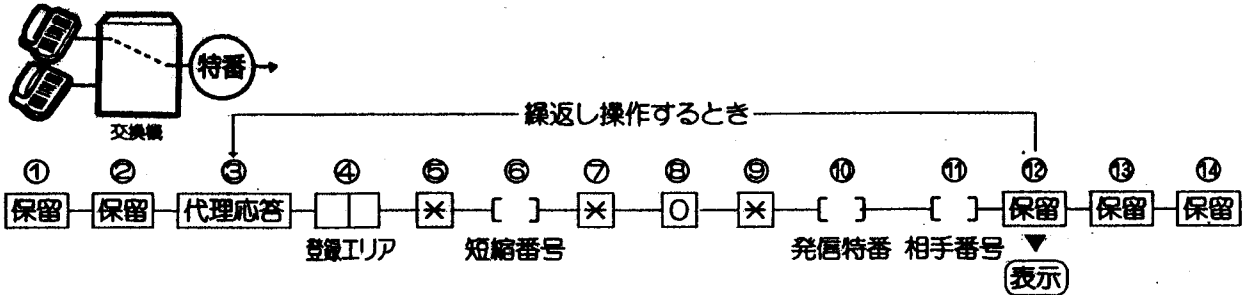
- システム短縮ダイヤルは取付け時、登録エリア0、1および1000メモリのいずれかに設定されています。またパターンについても8つのパターンのうちいずれか1つの使用設定になっています。販売店に確認してください。
- 設定されているシステム短縮のパターン内容にそって、相手先を登録してください。

【短縮ダイヤル一覧】

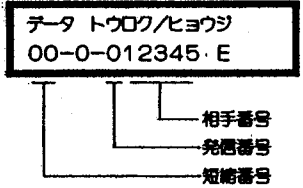
パターン		①システム短縮ダイヤル			②可変短縮ダイヤル	
		登録:0エリア	登録:1エリア	1000メモリ	グループ用	個人用
0	登録数 (短縮番号)	80 (00~79)	100 (00~99)	1000 (000~999)	100 (☒00-☒99)	20 (80~99)
	発信操作	☒☒→XX	特番→XX	特番→XXX	☒☒→☒XX	☒☒→XX
1	登録数 (短縮番号)	100 (☒00-☒99)	100 (00~99)	1000 (000~999)	100 (00~99)	20 (80~99)
	発信操作	☒☒→☒XX	特番→XX	特番→XXX	特番→XX	☒☒→XX
2	登録数 (短縮番号)	80 (00~79)	100 (☒00-☒99)	1000 (000~999)	100 (00~99)	20 (80~99)
	発信操作	☒☒→XX	☒☒→☒XX	特番→XXX	特番→XX	☒☒→XX
3	登録数 (短縮番号)	80 (00~79)	100 (00~99)	1000 (☒000-☒999)	100 (00~99)	20 (80~99)
	発信操作	☒☒→XX	特番→XX	☒☒→☒XXX	特番→XX	☒☒→XX
4	登録数 (短縮番号)	100 (00~99)	100 (00~99)	1000 (000~999)	100 (00~99)	20 (☒80-☒99)
	発信操作	特番→XX	特番→XX	特番→XXX	☒☒→XX	☒☒→☒XX
5	登録数 (短縮番号)	100 (00~99)	100 (00~99)	1000 (000~999)	100 (00~99)	20 (☒80-☒99)
	発信操作	☒☒→XX	特番→XX	特番→XXX	特番→XX	☒☒→☒XX
6	登録数 (短縮番号)	100 (00~99)	100 (00~99)	1000 (000~999)	100 (00~99)	20 (☒80-☒99)
	発信操作	特番→XX	☒☒→XX	特番→XXX	特番→XX	☒☒→☒XX
7	登録数 (短縮番号)	100 (00~99)	100 (00~99)	1000 (000~999)	100 (00~99)	20 (☒80-☒99)
	発信操作	特番→XX	特番→XX	☒☒→XXX	特番→XX	☒☒→☒XX

登録操作

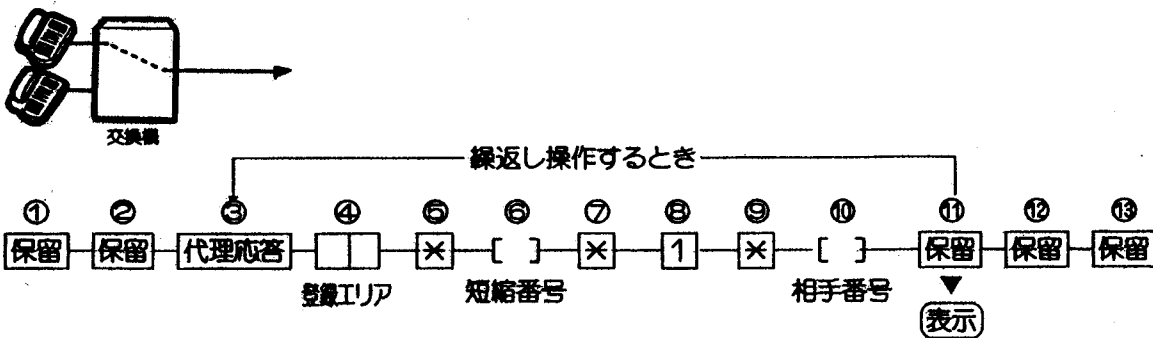
■ かけるときに特番が必要な場合 (例) 外線発信特番・LCR発信特番・専用線発信特番など



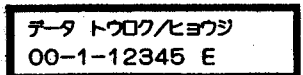
- 操作④は、0エリアの場合は [00]、1エリアの場合は [01]、1000メモリの場合は [02] を入力します。
- 操作⑥は、短縮ダイヤル一覧(P. 9)に於ける該当パターンの短縮番号そのものを入力します。
- ポーズが必要な場合は [フッキング] ボタンを押します。ポーズも桁数に含まれます。
- 新しい番号を入力すると前の番号は自動的にクリアされます。



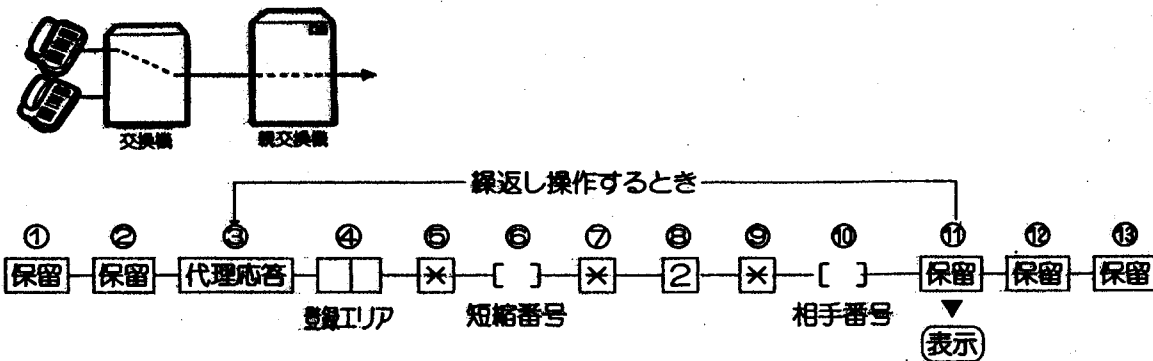
■ 外線に直接かけられる場合



- 操作④は、0エリアの場合は [00]、1エリアの場合は [01]、1000メモリの場合は [02] を入力します。
- 操作⑥は、短縮ダイヤル一覧(P. 9)に於ける該当パターンの短縮番号そのものを入力します。



■ 親交換機を通してかける場合



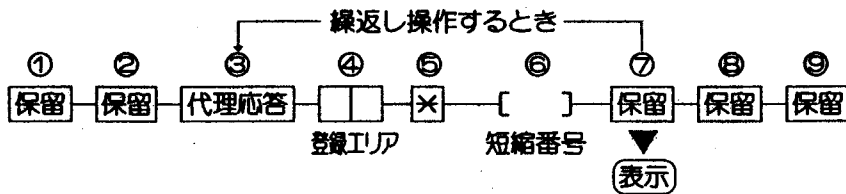
- 操作④は、0エリアの場合は [00]、1エリアの場合は [01]、1000メモリの場合は [02] を入力します。
- 操作⑧で、相手が内線のときは内線番号、相手が外線のときは親交換機の外線発信特番 + 相手番号を入力します。



特定電話機からの 登録操作

★操作はすべて受話器を置いたままで行います

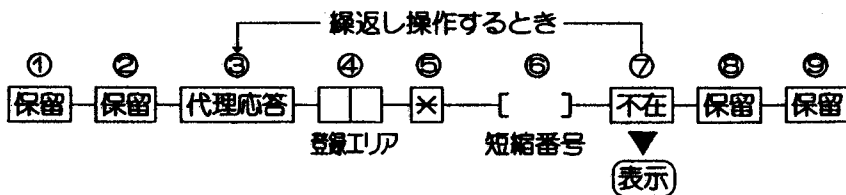
確認操作



データ トウロク/ヒョウジ
00-0-01234567 E
相手番号

- 操作⑦で内容が表示されたときに「E」マークの代わりに「-」マークが表示された場合は、内容が一度に表示できないときです。この場合は **転送** ボタンを押すと残りの内容が表示されます。

取消操作



データ トウロク/ヒョウジ
00-0-01234567C E